

令和5年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

下高井農林高等学校長

1 事業①

事業名	馬の運動場の柵製作
実施主体名	動物科学コース
実施人数（生徒）	8名
〃（職員等）	3名
実施日	6月
事業内容	本校は、農業高校であり、動物を扱うコースがある。また、放課後は畜産部が動物の飼育管理を行っている。本校には木曽馬を2頭飼育しており、馬の運動場の整備をしたいと考えている。本事業では、体育館横の敷地に柵を設置し、馬が駆け回ることができるように運動場として整備した。

（実施前）



（作業中）



（実施後）



本校で飼育している馬は木曽馬が2頭である。馬を飼育していく上で、広い運動場で馬を運動させることは、馬のストレス軽減や健康を維持するために必要である。生徒が自ら馬の飼育環境を整えることで、馬の生態や飼育について理解を深めることができた。

2 事業②

事業名	体育館ワックスがけ
実施主体名	男子バスケットボール部
実施人数（生徒）	4人
〃（職員等）	1人
実施日	9月23日（土）
事業内容	体育館を雑巾でふき、水分不使用のメンテナンス剤でワックスがけを行った。

（実施前）



滑りやすい床

（作業中）



（実施後）



安全にクラスマッチを行ことができた。

実施前は体育館のワックスがけを数年間行っていなかったため、体育の授業や部活動の際、床が滑り、安全面に問題があった。しかし、今回のワックスがけによって体育館の床のグリップ性が回復した。そのため体育館での運動のパフォーマンスが向上した。また、ワックスがけ実施後に行われた、クラスマッチにおいても床が滑ることなく安全に取り行われた。

実施したバスケ部員も体育の授業やクラスマッチ、他部活で安全に運動ができるようにと願い、学校の代表としてワックスがけを行った。そのため、本事業の有用性や自分たちが学校へ貢献していることを実感しているようであった。